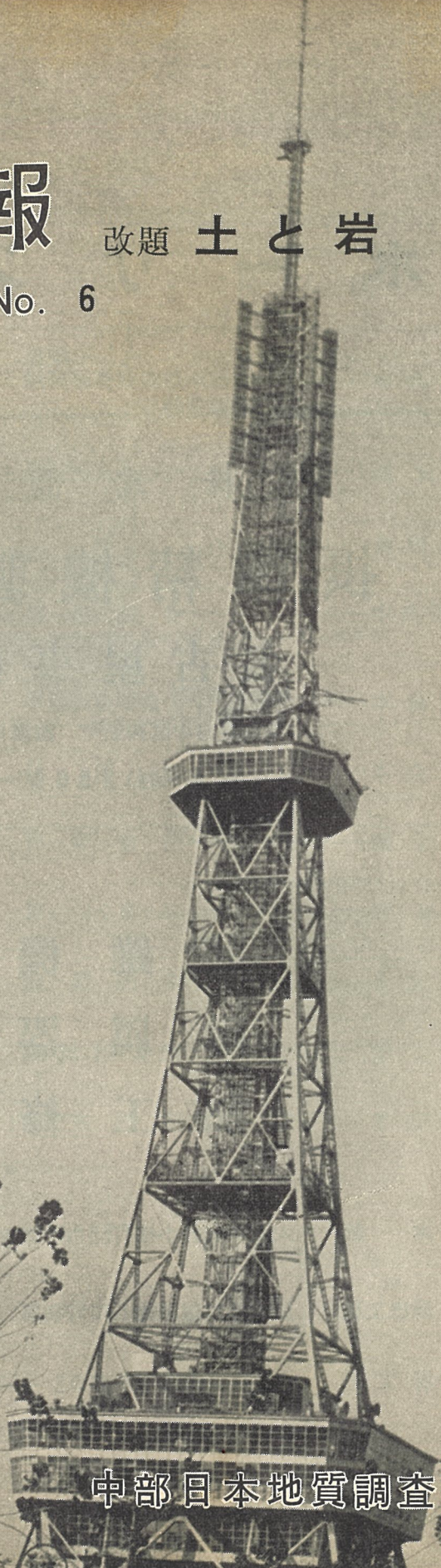


会

報

改題 土と岩

No. 6



中部日本地質調査業協会

土 と 岩

昭和38年10月

目 次

全国
地質調査業協会連合会……………本 会 宣 伝 部……1
臨時総会

薬液注入について……………越 賀 正 隆……4

声 ……………会 員 そ の 他……5

技 術 紹 介……………中 央 開 発 (株)……6
ベントナイトグラウトについて (その1)

単価表説明会 建設省中部地建
愛知県関係 ……………本 会 宣 伝 部……9

伝 言 板……………本 会 宣 伝 部……10

慰 安 旅 行……………尾 沢 徳……11

思いつくまゝに……………伊 藤 武 夫……13

会 員 紹 介……………本 会 宣 伝 部……14

事 務 局 通 信……………事 務 局……16

編 集 後 記……………本 会 宣 伝 部……17

中部日本地質
調査業協会

全国地質調査業協会連合会臨時総会

本会宣伝部

昭和38年9月27日正午から岐阜市長良川畔「長良館」において全国地質調査業協会連合会臨時総会が開かれた。当協会は地元協会の由をもつて準備、その他のため理事長以下全役員が出席、当面の重要問題について熱心に討議した。

出席者は下記の通り

連合会 会長 深田淳夫、副会長 大館辰之助、
理事 水町実夫、理事 森政雄、事務局長
代理 鮫島和夫、

関西協会 理事長 湯山正次、理事 野沢和次、事務
局長 荒巻甫

九州協会 理事長 中村小四郎、事務局長 服部綱彦

中国協会 理事長 松村恭二、事務局長 佐々木正夫

北陸協会 会長 境芳明、事務局長 石垣参策

東北協会 理事長 寺島正男、副理事長 兼 事務局長
永井忠男

北海道協会 副理事長 相馬富次男、事務局長 後藤芳
夫

以下総会順序に依りその概略を説明する。

挨拶、その他

1. 会長挨拶 深田会長

当連合会も段々と回を重ねて来たが、本日の岐阜大会では名古屋協会の絶大なる御協力を頂き、会が開催出来た事を深く感謝する。本日の会議は案件も多く重要議題があるが、どしどし意見を発表して頂き有意識な会合にする様お願いする。

1. 進行係推挙 東京(水町理事)、名古屋(伊藤監事)

1. 事業報告 大館副会長

後記1の通り

1. 会計報告 東京(水町理事)

後記2の通り

議題

1. 北陸地質調査業協会入会承認の件 深田会長

全員一致承認

1. 右に伴う会費審議の件 深田会長

分担率年9パーセントに決定、今年度は半年分負担



の事。(43,200)

1. 連合会法人化の件 大館副会長

定款一本部案と名古屋案のうち本部案に決定、会員の項に会員名を銘記する。

名称一全国地質調査業協会連合会とする。

北海道協会より来年1月までに登録してほしい旨希望があつて出来るだけ今年中に登録出来る様努力する。

1. 北海道地下資源開発株式会社の件

北海道協会(相馬副理事長)

- ・該社法律案が附帯決議を附して通過後該社は総理大臣及通産大臣より認可書を受けているが内容が不明確である。又該社は全国に自社に有利な如く書いた営業案内を出している。
- ・連合会として該社が上記活動を阻止する様、関係庁及担当官に運動されたい。
- ・6月北海道開発の、瀬事務次官が北海道視察に来北の際、該社を協会員として協調して仲良くして貰いたい旨にて当協会理事長、副理事長と面談したが、即答は出来ないのので後日回答することにしてある。此の件に関しては断る事に決定。
- ・6月14日該社の建部社長以下4名が会見に来たが内容は上記と同じであつた。

その時、法に反く行為をして貰いたくない旨申し入れておいた。

- ・認可書の取消方を連合会にお願いしたい。

1. ボーリング技術士(仮称)の件 大館副会長

(註) 名称の件については技術士法第7章第39条
(名称の使用制限)によりボーリング技術士を
別のものに改める必要あり
(例)地質調査士等々

別紙の案件について研究し次の機会に持ち寄り検討する。

1. 職種別賃金の政府認定運動に関する件

関西(湯山理事長)

- ・建設業法第2条に地質調査業を入れる様にしたい
- ・管工の賃金と同じく見做されているが地質調査の賃金を認めて貰いたい。

右二件に関しては法人化後の運動としたい旨決定

1. 軽油免税の件 大館副会長

今回は対象とならなかったが、地質調査業法の設定
及主任技術者資格の認定等と平行して社団法人化後
の課題として社団法人化に全力を傾注する。

1. 全国的工事単価維持啓蒙運動に関する件

関西(湯山理事長)

- ・土質工学会等との連繫をとつて単価の維持をした
- い。
- ・発註官公守の担当者と協会との単価懇談会を行つ
- たが、予期以上の成果があつた。一名古屋
- ・積算資料にもつと正確な数字を乗せて貰いたい。
- この件についてはその他の項で検討。

1. 事業計画に伴う補助金の件 関西 湯山理事長

単一の協会での事業計画に対して連合会から補助金
が出せるか。

現在のところではその事業が全国的のものであれば
予算より支出出来るが、関西一地区の事に関しては
連合会としても予算収入を最底線で徴収しているの
で無理かと考えられる。一回答

1. 各地区協会加入手統一の件 中国、四国(松村理事長)

(1)未加入者の勧誘について

- ・各協会共推薦会員1乃至2社を必要とし、理事会
にて決定、但し北海道は入札指名を受けた会社
を入会資格とし、機械、人員等を吟味して理事
会で決定。

(2)本店と支店のある場合加入はどうかっているか。

- ・加入している処と、していないところあり一定し
ていない。

(3)ゼネコンの入会について

- ・必要があれば連合会より断りの文書を提出した
い。

1. その他

(1)積算資料掲載の単価表について

- ・現在積算資料に掲載されている単価は不正確で
あるので、是正する様お願いしたい。

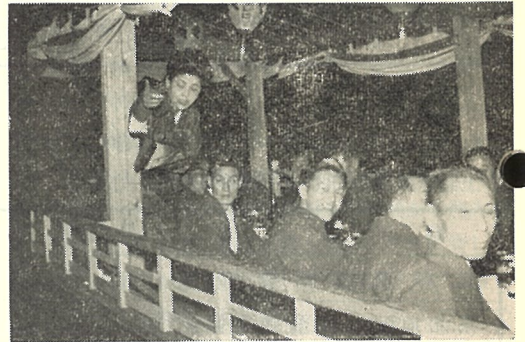
名古屋一九州

- ・11月初旬各協会より担当者が東京に集り、協議
決定したい。日時については後日連絡する。

(2)協会名称変更の件

- ・北海道一北海道地質調査業協会に変更
- ・中部日本一中部地質調査業協会に変更する様努
力する
- ・東北一東北地質調査業協会に変更
- ・日本地質一帰京後早急に皆さんの御期待に添え
る様努力する

以上にて総会を終り懇親会にうつつた。



記 1

昭和38年度全国地質調査業協会連合会 臨時総会事業報告の概要

1. 会の宣伝として各協会名の暑中広告を7月に
日刊建設工業新聞及び
日刊建設産業新聞へ掲載
2. 会の宣伝として38年7月調による連合会の会員名簿
を作製之れには新加入の北陸地質調査業協会を掲載
いたしました。

3. 北海道地下資源開発株式会社のその後の動き

- (1) 通産省アルコール事業部より発注の「盤田アルコール工場」のボーリングについて
- (2) 原子燃料公社の発注ボーリングについて
- (3) 北海道成銅業協会度内の

沼田町農業協同組合の
室蘭土木現業所の } 発注ボーリングについて

4. 連合会社団法人についての活動

5. 軽油免税についての活動

6. ボーリング技術士について

記 2

昭和38年中間支出金表 (4月～8月5ヶ月間)

項 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
(1) 事 務 所 費			
給 料	300,000—	30,000—	事務局手当16,000— 1ヶ月分 女事務員14,000—
印 刷 通 信 費	150,000—	6,040—	
交 道 費	25,000—	13,000—	
(2) 会 議 費			
総 会 費	150,000—	113,000—	
(3) 事 業 費			
事 業 費	260,000—	220,000—	経済調査会発行積算資料 ￥200,000— 日刊建設工業及日刊建設産業 ￥20,000—
(4) 臨 時 費			
臨 時 費	50,000—	9,100—	田中代議士他5名分 御中元
(5) 雑 費			
雑 費	25,000—	1,110—	
計	960,000—	392,292—	

会 費 (上期分) 分 担 金 入 金 状 況 一 覧 表 昭和38年9月10日現在

上記予算 480,000— (年間 960,000—)

協 会 名	分 担 率 (%)	分担金額(上期分)	入 金 額	未 收 額
北 海 道 試 錐 業 協 会	9	43,200—	43,200—	—
東 北 地 区 地 質 鑿 井 業 協 会	9	43,200—	43,200—	—
日 本 地 質 調 査 業 協 会	30	144,000—	(年額) 288,000—	—
中 部 日 本 地 質 調 査 業 協 会	14	67,200—	—	67,200—
関 西 地 質 調 査 業 協 会	20	96,000—	48,000—	48,000—
中 国 四 国 地 質 調 査 業 協 会	9	43,200—	21,600—	21,600—
九 州 地 質 調 査 業 協 会	9	43,200—	43,200—	—
北 陸 地 質 調 査 業 協 会	—	—	—	—
計	100	480,000—	487,200—	186,800—

薬液注入について

名古屋工業大学土質研究室 越 賀 正 隆

名古屋市交通局はいよいよ地下鉄の南北線の工事を開始した。この南北線は名古屋市役所と金山を結ぶ延長約4.9kmのもので、既に出来上っている栄町駅から工事に着手した。

この南北線での最大の問題は、この線が名古屋テレビ塔の直下を通るために、テレビ塔に被害を加えずに如何にして工事を進めるかと云う点である。

テレビ塔は高さが地上180m、その基礎は地表面から6.5mの深さにあつて、杭打など施さず、地盤に乗せてあるのみである。ところが、この附近の地盤は砂質土であるため、工事のための振動で、若し砂地盤に弛みを生じた場合、基礎が沈下する恐れがある。そうになると、テレビ塔は、傾くとか、場合によっては破壊し去ると云うような事が起らぬとも限らない。専門家の計算によると、この塔は、若しどれかの基礎が5cm程不同沈下を起すと、テレビ塔のある部材が破壊点に達し、引いてはテレビ塔が倒壊する結果になると云うまことにきびしいものである。従つて、普通の場所で行うような矢板折込みなどをすると、どうしてもその振動で地盤が弛み、塔が破壊する危険性がある。そこで、交通局は学識経験者から成る技術審議会を数回に亘つて開催し、慎重審議の結果、塔の基礎の下に薬液注入を施して地盤を固め、地盤の弛みを生じないようにした上で、更に矢板打込みなど振動を伴わない工法によつて工事を進める様との審議会の答申を得て、目下その線に沿つて工事計画を進めている。

そこで、この基礎の下をどのような注入工法によつて固めるかが問題になるのであるが、まだその発表の時期でないので述べることを差控える。しかし、名古屋市民としては少なからず関心のあることと思われるので、この機会に薬液注入について少しばかり述べて見ることにしよう。

薬液注入と云うのは、現在ではA-M9のような有機物を使用するものが考えられているが、これは極く新しい工法で、一般的には珪酸ナトリウム（通称水ガラス）を主成分とする工法が行われている。

この種の薬液注入はFrancoisの水ガラスと硫酸ばん土を用いるものとJoostenの水ガラスと塩化カルシウムを用いるものが今から約40年程前に考案され、我が国には昭和5年頃に珪化法として輸入された。難工

事で有名な丹那トンネルが、この工法によつて見事完成されたことはまだ記憶に新しいところである。

従来、この工法は主として漏水防止の目的で使用されて来たが、その理由は、2種の薬液が混合されると瞬間的に固結する性質があるからで、これがこの工法の長所であると同時に短所でもあつたのである。

2液を混合した場合、ゲル化時間（凝結をはじめる時間）が自由に調節出来、しかも生成物が不溶解性の安定な物質になると云うことが望ましいので、その後色々研究が行われ、現在では日本綜合防水K.K.のケミゼクト工法、三井建設K.K.のハイドロック工法などが実用性あるものとして認められるようになった。

ケミゼクト工法と云うのは珪酸ナトリウムにアルミン酸ソーダを混合するもので、ゲル化時間はその配合比や温度によつて変化するが2分乃至4分程度、その生成物は不溶解性の珪酸アルミニウムである。

ハイドロック工法と云うのは珪酸ナトリウムに重炭酸ソーダを混合するもので実際はこれにC剤と称する珪酸化ソーダを加える。これもケミゼクトと同様安定性のある物質が生成され空気に晒されない限り年と共に強さを増す性質を有している。又、ゲル化時間は大巾に調節が出来20分乃至30分と云う長い時間ゲル化されないことが出来る。

両工法の違いは、そのゲル化時間にあり、ハイドロック工法ではゲル化時間が長いので、薬品を1つの容器で攪拌しておいて、適当な時間が経つてから注入すると云うことが出来、滲透距離も長い。それに対し、ケミゼクトはゲル化時間が短いので2液を7つの容器で混ぜると云う時間的な余裕がないので、注入寸前で2液が混ざる様な装置を用いる。

これ等の薬液が土中に法入される、軟弱な地盤でもその剪断抵抗が増し、力学的に強い地盤になるので、止水の目的のみならず、軟弱地盤改良の目的が果されることになることは明らかであるが、両工法、その工費が可成り高価になることが気安く使えない原因のように思われる。即ち、両工法とも、1m³の土を処理するのに大体2万円乃至2万5千円かかるので、これでは余程の緊急な必要性に迫られた場合でない限り使う気持ちに出来ない。

工費が安く、しかも出来上つたものの強さが大きい

と云う点ではセメントの注入に勝るものはない。然しセメントは、水に溶かした場合、分散性がよくないのとセメントの粒子の大きさが40ミクロン乃至50ミクロンと云う程度のものなので砂屑でも砂の粒子の大きさが0.5mm程度以上の粗砂でないと入らない。従つて、そう云う粗砂層の場合は、これにペントナイトを混ぜて分散性を良くして法入するのが最良の方法であるが細砂、あるいはシルト、粘土の場合でも極く弛い軟弱な層の場合、即ち空隙率の大きい場合には、薬液のみでは高価になり過ぎるので、あらかじめ、セメント・ペントナイトを注入して空隙を減らしておいて、しかる後に、薬液を注入するとか、又は薬液にセメントやペントナイト、又はボゾリスなど、その場に応じて混合して注入することも行つている。

この方法はハイドロツク工法で採用しているものであるが、日本総合防水K Kでも珪酸ナトリウムにセメント・ペントナイトを混ぜる工法を不安定水ガラス工法と称して使用している。これ等の工法を用いた場合は薬液のみによる場合の1/2以下の工費で済むことになる。

薬液にはこれ等無機のものばかりでなく、有機のものもあつて、前述したA・M9などはその代表的ものである。これは粘性が水と殆んど大差なく（水の20%増程度）従つて滲透性が極めて良いため、注入が容易で効果も素晴らしい。漏水防止のみでなく地盤改良にも適しているが、その最大欠点は、余りにも高価であること、（1㎡の土を固めるのに7万円程度かかる）と、今一つ見のがせない欠点は酸性が強いと云う点である。これ等の点が改良されない限り普及性はまだ程遠いと云わねばならない。外国の特許品であるため、特許料と輸入税で高価になるので、我国では日東化学が、これと殆んど同じ製品を作ることになり、日東SS工法として売り出しているが、それでも他の薬液に比べると工費が倍以上はるようである。

工業成品の廃物を利用するようなことが出来たら、国策的にもよいわけであるが、その意味から云うとパルプ廃液のリグニン等を用いたクロームリグニン工法などは優れたものと云える。

クロームリグニンと云うのはリグニンと重クローム酸ソーダを用いるもので、特に火山灰土の安定化には有効であると云われているが、自然含水量の多いところでは余り強度は出ない。

免に角、薬液入は技術的にまだまだ改良される点が多々あるようであるが、各社とも研究意欲が旺盛であるので近い将来にもつと安価で効果的なものが出来るものと信じている。

テレビ塔下の注入工法がどのような方法で施工されるか、そして、どのような工法で延長約80mの間が施工されて行くか、たびたび新聞紙上に賑わした問題だけに市民の関心も高く、従つて当局も慎重に計画を進めている。

一市民としてその成功を祈つて止まない。



前文略

▲ 従来の会報から土と岩に改題せられその内容を向上せられんとする理事各位の御努力については我々会員として誠に有難く感謝の念に堪えません。特に「これだけの本は是非読んで下さい」の一文は非常に参考となりました。たゞ欲を申しますとボーリング屋には小企業者が多く（支店、出張所組は一応の形態をとる）のえてみますが、特に我々の様な地方業者には凡ゆる点で協会の御指導に預り度く、上記の如き技術的な面の外経営指導的文献等の御紹介やボーリング屋にマッチした経営の手ほどきなどをやつて下さいと誠に有難く存ずる次第です。

以下略（一会員）

▲ 会報について

前号は性格的にみて余りに白紙に過ぎる。もつと業界紙としての特色を出してほしい。

技術的にも或は特集物にも。 中央開発 三浦氏

▲ 昔は、業者は、ミオカミにムシケラミの如く扱われた時代もあつたと云う。最近ではその様な極端な例はない様だが、出先等でこれに似た様な感情を露骨に示され、噴瀝やるかたない思いをされた者が我々ボーリング業者の中にも間々あるのではないかと

私自身も、出先でミなんだ、ボーリング屋が…ミと云つた馬鹿にされた様な感じで応対され、嫌な気持ちになつたことが一再ではない。しかし、その都度考えることだけど、その様な感情を露骨に表わす人達の人格等を云々する前に、何かしらその様な感じをそれ等の人達に与える様な要因が、我々業者の中にもあるのではないかと思う。ミ他人を制する前に先ず自らを制するミべきではなからうか。

未だ我々業者の間には、所謂ミ堀ればいくら…ミと云う昔ながらのボーリング屋的営利主義とでも云うものが、根強くその心底に流れているのだろう。

先号の会報でも、応用地質の伊藤所長が述べておられたが、現在業界の主流種である調査工事は、技術上精度の高いものを要求されることは云う迄もな

く、それだけに、業者として、より一層の誠実さが欲しいものである。このことは、単に工事そのものに対するだけでなく、業者の融和の上に置いて、是非実行して戴きたいものである。

各地区毎にボーリング業の協会も生れたことだし全国協会の連合会も発足して2年にもなり、一応業界としての基礎造りは成されて来たけれど、一方では前時代的な請取職人の如き考え方も潜在している。もつともこの様な事実は何も我々業界のみに限られたことではないかも知れないし、日本全体の跋行的な歩みから、我々のみが完全に抜け出そうとするのも不可能なことかも知れない。けれど、お互いに、左右の歩調を少しでも近付ける様に努めて欲しいも

のである。中小企業が何時までも弱小のまゝで、あがいているのも、何かしら、こんなところにも一つの原因がある様な気がする。

ともあれ、こんな愚言が、本当に、愚言々となる日が、一日も早く来て欲しいものである。(一会員)

▲ お願い

声欄は会員その他一般の方々の当協会に対する御要望なり、御叱責を賜わり、協会運営の参考になりたいとの考えから設けた欄でありますので、「土と岩」誌のみならず、協会各部門(総務、技術、宣伝、財務)の実行計画その他について御投稿賜りますれば甚だ幸甚に存じます。(総務部)

技術紹介

ベントナイトグラウトについて(その1)

中央開発株式会社

グラウトの意義については新たに申上げるほどのことではないが、何か土に対するグラウトについては施工効果についても疑問視され勝ちの傾向にあつた。近年工事のスピード化に呼応してこの工法もその注入材の進展研究と相俟つて急速な進歩を遂げるに至つた。ベントナイトグラウトは注入材であるベントナイトの膨潤性を大きく活用したものであり、その土木的利用が施工効果と共に大きく取上げられるようになった。

こゝに注入技術と注入実験とに分けて、そのあらましを、注入技術については既存の参考書(イエーデ著セメント、薬液注入工法及び三重大学愛甲教授著ベントナイトの土木的利用に関する研究)から摘録し、注入実験については愛甲教授の実験から抜粋したものを本号には(注入技術)を、次号には(注入実験)を掲載し、諸賢の参考に供したい。

(注入技術について)

(1) 注入の意義

注入作業は次の3種に区分される

(イ) 空洞注入

(ロ) 割目注入

(ハ) 空隙注入

注入が成功するためには圧力によつて注入された材料が分離することなく、あらゆる空洞、割目、空隙にゆきわたり、永続的に満たされなければならない。

(イ)、(ロ)は岩盤、構造物に多く、(ハ)は土の地盤に多い。こゝに取り上げたものは(ハ)地盤の空隙注入についてのものである。

(2) 注入理論

(イ) 地盤の透水係数

Maagの基本法則によると

$$\frac{K'}{K} = \frac{V}{V'}$$

K' : 注入材に対する地盤の透水係数

K : 注水材に対する地盤の透水係数

V' : 注入材の動的粘性係数

V : 注水材の動的粘性係数

(ロ) 注入有効範囲

注入有効範囲は K' V' の外、注入圧力及び注入時間で左右される。

注入圧は注入材が地表に逸出しない限度で定め

る。注入時間は注入材が硬化する時間で定まる。
透水係数 K と注入有効範囲 r との間には次のような理論的な関係がある。

石	$K=10^{-10} \text{ cm/sec}$	$r=373 \text{ cm}$
砂 礫	$K=10^{-1}$ "	$r=173$ "
砂、微砂	$K=10^{-2}$ "	$r=80$ "
微砂	$K=10^{-3}$ "	$r=37$ "
微砂、泥	$K=10^{-4}$ "	$r=17$ "
泥	$K=10^{-5}$ "	$r=8$ "

表から分ることは実質的な注入有効範囲は

$K=10^{-3} \text{ cm/sec}$ 以下と云うことになる。

又 K の値が小さい土に対しては注入の可能性についての予備試験を正確に行なわなければならない
又空隙が小さければ小さい程注入材は一層流動的
でなければならない。

粒径 5mm以上 cm	5~2	2~0.2	1~0.06	0.2以下
$K > 10^{-1} \text{ sec}$	$K > 8 \times 10^{-2}$	$K > 10^{-2}$	$K > 10^{-3}$	$K < 10^{-3}$
砂 利	砂 粗	砂 中	砂 細	砂 微
セメント注入	薬品、瀝青乳注入			

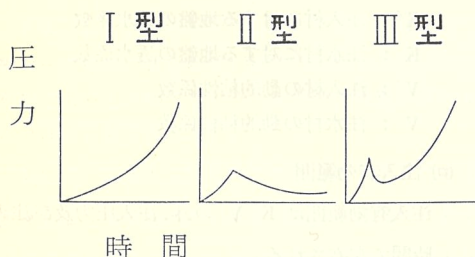
イエーデ氏の一つの標準として上表のように提唱している。

(3) 注入圧力

注入材料を広い範囲に入れるため、余分の水を絞り出し、注入材の固結を計るためには多くの圧力をかけることが望ましい。

注入の最終成階で到達し得る最高圧力、飽和圧力には特に注意する。

注入時の圧力経過には次の3つの型がある。



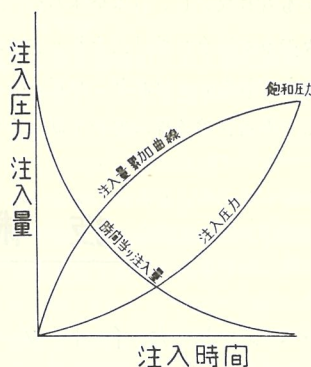
I、IIIは注入成功、II型は失敗を示す。

(4) 注入経過

注入圧力と注入量とは関連する。

注入圧力が小さいときは注入量は大きくなり、圧力が大きくなるにつれて注入量が減少し、飽和圧力に至れば注入量は0になる。このような経過が理想的なものである。

理論的注入経過



1. 填充期

ほぼ一定圧で注入が行なわれ、注入材の主要な量が消費される

2. 固密期

注入量は減少し注入圧力は徐々に上昇する。

3. 飽和期

余分の水が絞り出される量が減り、急速な固化が起る。飽和圧力をより長く保

持することによつてより有利な結果が得られる。
飽和圧力は注入材の種類によつて異つた形で招来される。

(1) 懸濁液の場合は 流動速度が減り粒子が沈澱することによつて起る。

(2) 注入材自体で沈澱析出する場合は 粘性の増加によつて起る。

(3) 注入材を混合して起る化学変化により 沈澱析出を生ずるもの。

このように 注入材の選定には工目的及土の空隙状態の両面から考えることが 必要である。

(5) 注入材料に対して要求される性質

(1) 流動性

流動性が大きければ大きい程 注入結果はよい

が、この流動性は 大量の水を加えることによつてのみ可能となる。所要水は 土の量間隙及流路の長さできまるが、間隙が小さい程、又流路が長いだけの割合を 多くしなければならぬ。

又この水は材料運搬の役目を果たした後は 余剰水となるが、この余剰水は、汙過することが可能でなければならない。

一般に土の地盤では 汙過は容易であり、この面から 流動性が害なわれる恐れはないが、若し何等かの条件で 汙過が容易でない場合は出来るだけ水量の少い注入材を 用いなければならない。

(2) 沈降に対する抵抗性

注入材の具備すべき条件は 沈降に対する抵抗性である。

注入材は出来るだけ材料の分離を 起さないものでなければならない。

コンクリート 又はモルタル注入にあつて不満足の結果の得られるのは 注入材が、安定化、していないで 材料分離を生ずることから生れることが多い。

材料となる物質の粒子の沈降速度は チクソトロピーを有する粘土懸濁液の中では 非常に減少する。

チクソトロピーを有する注入材は それが運動状態にある限り 流動状態を保つが静止状態になれば直ちにゾルから ゲルに変わる、チクソトロピーの限界内で加え得る水の量を チクソトロピーの限界という。

この水の量が多い程 チクソトロピーの限界は大きいという。最も良好な チクソトロピー的性質を有するものはベントナイトである。

良好なベントナイトは その容積の40倍もの水を加えてもゾルを形成することが出来る。

このような チクソトロピー的性質を有するベントナイト容液にセメントを混合した 懸濁液にあつては、材料分離の恐れは ずっと少くなる。

即ち 広い範囲に注入材を行きわたらせること

が出来るので、止止水の効果が大きい。

ベントナイトを加えることによつて 地盤強度が減少すると いわれるが、止水を目的とする場合は 材料の分離を少なくすることの方が強度の損失より重要である。

又ベントナイト自体にも 水を拒む性質があり従つて 容易に洗われたり、薄められたりすることはない。

止水のみの目的には ベントナイト液の利用も考えられる。しかし セメント単独、ベントナイト単独液は、夫々長短を有するので 両者を混合して 各々の欠点を補い、長所をのばすことが肝要である。

註 チクソトロピーとはコロイド化学に於て動力学的作用だけによつて固体状態から液体状態に変換する材料の性質をいう。

次号に（注入実験）を掲載いたします。

—原稿募集—

- 1 論 旨 技術発表、文芸作品、その他
当協会に対する御意見等何でも結構です。
- 2 締切日 昭和38年11月20日（7号）
- 3 発 表 1月号本紙上、応募作品多数
の場合には順次発表致します
- 4 その他 (イ) 作品には社名、役取名、
氏名を明記下さい。
特に紙上匿名を御希望の
向は御指定下さい。
(ロ) 応募作品には薄謝を呈し
ます。
(ハ) 送り先当協会宣伝部宛

地質調査工事標準単価表説明会

建設省中部地建並に愛知県関係

本会宣伝部

過般技術部に於て慎重なる協議の上作成し、既に会員並関係方宛へ配布済の単価表に関する説明会を下記に依り実施した。

昭和38年9月6日 15時 愛知県関係

昭和38年9月13日 16時 建設省関係

於 ホテルニューナゴヤ



説明会は上述の通り二回に分ち実施されたが、いずれも定刻小島理事長の挨拶に始まり単価表に関する一般的事項の説明には伊藤（明）副理事長が当つた。その要旨は下記の通り。

（理事長開会挨拶）

軟弱地盤に対する基礎設計等についてはボーリング調査に依らずんば出来得ずと云つて過言でない。而うして我々業者として信頼出来る正確な調査報告を為さんと努力を怠らないが、発注者各位におかれてもボーリング工事の重要性を認識して戴き、無理のない予算を組んで戴きたい。予算設計に当つて当協会の作成した標準単価表改訂版が多少なりともお役に立つ事が出来れば幸甚と存じますし、又その重要性から正しく認識戴きたく此処に説明会を開催しました。

〔一般説明—伊藤（明）副理事長〕

標準単価表改訂版についてはその冒頭に改訂に当つてと題し、説明を致しておりますので、此処に改めて説明する事を略します。たゞ一言特にその使用に当つては太字部分をよく御了解下さい。改訂の理由は前回の単価表は岩盤部分のボーリングについては詳細の検

討がなされていたが、軟弱地盤については不備の点多々あつた。今回はその点を補足する意味もつものである。而説明会共上記一般説明が終つて、直に討論の形式で質疑応答（要望を含む）に入つた。

その大略を列記すれば下記の通り

〔説明〕 従来一部発注者にあつては単価表に対する不信感があり、表中の数字は實際請負費の何割増か、などの質問を受ける事がありますが、当協会においては研究部において慎重審議して製作したものであり、責任のもてる数字を表わしている。人件費、償却費等については建設省単価表に準拠しており、必ずしも業者本位の単価表ではありません。（協会側）

〔質問〕 工事進捗度率並に報告書の費用について

（発注者側）

① ボーリング進捗度については工程内に含まれる各種試験に依つて或は現場の状況に依り工事の進捗が妨げられる場合が住々にあり、又粘土層、砂層、砂礫層の三区分別には分つているものゝそれぞれ又千差萬別に一日何米と云う確定的なものはなかなか出し得ないものですが、当単価表では御覧の通り一応平均的なものとして進捗率を出しております。

その深度は一応30mを基準と致しました。

② 報告書についても試験の内容、提出部数、その他に依り一部につきいくらかとはなかなか決められません。此処では4—5部は提出するものと考え、一部2000円と標準的に出したまでである。

〔質問〕 ボーリング現場の人員構成について

（発注者側）

3名一組を標準としている。

〔質問〕 主任技師の経験年数は（発注者側）

大学卒業後12—13年程度の経験を有したものがあつている。

(質問) 同発注者においても発注場所(出先機関の相違)に依つて単価がまちまちの場合がある。

統一出来ないものか。

(協会側例を上げて説明)

実際そう云う場合も今お話の様にあって思うが、此の単価表に基いたとしても歩掛は同じでも各施工場所の相違で、例えば人件費単価などには相違があり、現地の実情に応ずれば必ずしも統一出来るとは云えない。又地層に対する解釈の相違から違いの出るものもある。たゞ全体としてアンバランスにならない様本質的なものについて不統一のない様気をつけていきたい。

(質問) ダイアボーリングにサーフェイスビットではなく、インプリグネイトで積算したのは何故か。(発注者側)

一般に土木のボーリングは数量的に少い。従つて適当なビットタイプを選定する迄に終了してしまうケースが多い。依つてインプリグネイトで考えたものであり、又事実インプリグネイトを使用している事例が多い。

(質問) 岩盤ボーリングに於ける傾斜堀並水平堀の単価は(発注者側)

通常傾斜の場合15%、水平の場合20%増程度でお願いし度い。

(質問) 不攪乱資料の試験について(発注者側)

中部地方には試験設備を有する社が少なく大部分が東京、大阪の試験所に依頼している。

(要望) 試験所等見学したくとも出来ず、早急に協会として試験室を完備せられん事を望む。

(発注者側)

(質問) 技師、技手等の資格基準について

(発注者側)

部分的には各社において差あるも全体的には建設省に準じて格付けしている。

(質問) 機械の償却費はどの項目に入れているのか。

(発注者側)

試錐調査サンプリング、サウンディングその他の原位置試験については機械器具損料として試験費とは別紙に計上しております。土質試

験についてはその性質上試験費の中に折込んでいる。

(要望) 単価表に可成りのミスプリントがあるが、何かの機会に修正してほしい。(発注者側)

正誤表をつけてミスプリントを完全に修正したつもりでいたが、その後2、3のミスプリントが発見されている。改正の余地が全くないと云えないので、今後一層の研究をなすと共に次回は完全にし度い。

(質問) 諸経費の25%は高すぎないか。(発注者側)
発注者に依つて諸経費の工事費に占める割合の考え方は可成りの違いをみますが、地質調査と云う仕事の性質上工事額に対する一般管理費の割合も事実上可成りの割合となつており、25%程度はお考え戴き度い。

その他種々の質問も上記の説明、要望、質問の過程においてあつたが、此处では両会場のものを取纏めてその主たるものだけにまとめた。

説明会は小島理事長の閉会の辞に依り終りましたが質疑応答を通じて誠になごやかな雰囲気の内にも真剣に単価問題に取り組んでいた関係者の様子から地質調査と云う仕事が増々関心事となりつゝあると云う強い印象を受けた。

尚当日の出席者は下記の通り

愛知県関係	役所側	14名
	協会側	23名
建設省関係	役所側	11名
	協会側	19名

伝言板

▲新入会員のお知らせ

今回新しく下記二社が会員として当協会に入会されました。従つて38年9月30日現在で会員数は40社となりました。

1、新菱建設株式会社名古屋支店

代表者 取締役支店長 橋寺六郎

住 所 名古屋市中村区笹島町1の1

新名古屋ビル 4 階

TEL (56) 4457-9

1、三鉦コンサルタント株式会社名古屋営業所

代表者 所長 八木清美

住 所 名古屋市市中村区広小路2の26

三井物産ビル3階 三井鉦山内

TEL (54) 3131-3

▲協会名変更に関する件

現在全国地質調査業協会連合会メンバーは日本、東北、北海道、北陸、中部日本、関西、中国四国、九州の八地質調査業協会ですが、東京のみが日本地質調査業協会を呼称するのはおかしく当然東京なり関東なりに変更すべきだ、と云う論あり。日本地質調査業協会が変更が協議せられる事となつていそうである。同時に我々中部日本地質調査業協会も他地区協会との語呂の関係で中部地質調査業協会としたらどうかと云う意見があります。現在の処理事会においては特に反対意見はありませんが、協会名の変更、随つて会則の変更は総会の決議事項でありますので、いずれ総会に於て論ぜられる事になりましようから会員諸氏の御検討をお願い致します。

▲ゴルフ同好会会員募集について

先号の〔声〕にゴルフ大会の開催を望む声がありました。全国地質調査業協会連合会臨時総会に出席していた当協会の役員の中の同好者の間でたまたまその事が話題となり、一つこの際同好会を作ろうではないかと云う事になった。活発に種々の案が出たが、先ず同好会の設立をするため同好者のゴルフ大会を開き、そこで会名、会則、その他必要事項を審議しよう云う話がまとまり、設立される迄の準備委員として、明治建設、興亜開発、東邦鑿泉を準備委員として押し進めようとの話が纏つた。而して設立準備委員の方から下記の如き構想の概略を附して会員を募集してくれとの事でありますので宜敷く御入会方を御願ひ申し上げます。

1、同好会設立ゴルフ大会 11月20日(水)

18ホールズ ストロークプレー後設立会

時間、場所は申込者に文書にて連絡する。

2、設立準備委員長 明治建設陶山嵩

3、申込み先 中部日本、地質調査業協会

ゴルフ同好会又は事務局へ

4、構想の概略

① 3~1ヶ月に一回大会を開催。

② 会費は1ヶ月壹千円程度として大会開催時は参加費式千円程度を徴集する。

③ 官庁並民間会社のボーリング関係者の同好者は特別会員として入会をお願いする。特別会員の大会参加費は会員と同一の式千円程度とする。

但し月割会費は免除。

5、その他

④ 設立ゴルフ会を第1回大会とし、第1回大会についてはグリーンフィーは自弁会食費として壹千円徴集致します。 以上

慰 安 旅 行

日本鑿泉探鉦(株)調査工事部

尾 沢 徳

秋ともなれば慰安会のシーズン。例年変らないが「温泉」「酒」「マージャン」であろう。扨々、今年はどこにしようと思頃あわてゝも、もうおそい。5、6日前には プランをはつきりさせ予約を取つておきたものだ。とかく呑み助の多いボーリング屋のこと、幹事氏も大変である。中には夜も Boring 作業に出掛ける者もあり、翌朝人数が減つていたという話も妻々お聞きしたこともある。さて我々の業種では土曜、日曜を掛けての1泊2日間が精一杯というところ。自から行程も限定され、東は伊豆、箱根、西大阪、有馬辺りとなる。そこで来年の計画に参考となればと思い、比較的俗化していない山の温泉地を並べてみた。

西伊豆

東岸の伊東一石廊崎間は伊豆急と共に開発も進み、すでによく知られているのにくらべ、西岸は未開地区ともいえるだろう。「いず」の湯は出湯(いずゆ)から起こつたといわれる程温泉の多い半島ではあるが、西岸ではミ土曜ミがただ一つの温泉町である。まずこの土曜に宿を求めるとしよう。ルートは修善寺及沼津からのバスと沼津港からの船があるが、景色はいずれも

よく、ことに峠から天城連山を望み乍ら眼下に駿河湾を見おろすながめは格別だ。ただし狩野川沿いの田舎通はでこぼこ。宿についたらひとフロあび達磨山か、猫越岳を歩くのもよろしいが、おとしよりは海岸へ出て水平線に沈む夕陽でも眺めるのが無難だろう。散歩から帰ればマージャン組はすでに熱をおびている頃となる。湯は石膏泉、57度。宿の離れに牧水が逗留していたという部屋があり「柴山のかこめるふるさとにいでゆき梅の花さきて冬を人おほし」の歌が額に入っている。名物はみかん、びわ、わさび、しいたけ、と魚貝類等である。翌朝海岸をバスで走ると富士が空にきれいだ。伊豆の松島ともいわれる堂ヶ島、雲見崎、杉松、波勝までの海岸は断崖絶壁が続き近寄りたき程の素時らしさだ。又波勝崎では野猿が群生しており最近えさづけが成功して人にもなれたそうである。これで西伊豆は一通り全部ということになるので帰りを急がねばならないが、日程さえ許せば松崎からバスだろう。分程奥へはいつたひなびた山の湯「大沢温泉」泊りもよい。いずれにしても西伊豆は強行軍の部に入る。

梅ヶ島温泉

静岡からバスで2時間40分、安倍川もあと上流200メートルで消えるというところが海拔1000メートルの梅ヶ島温泉である。昨年10月訪れた時は山はすでに色ずき気温も低くセーターを着込んで丁度いい程だった。バスから降りたら吐く息は真つ白、暖い静岡と比べたら随分違う。宿は溪谷に沿って1、5軒あり、お湯は単純硫黄泉で41度。ぬるぬるするが足の先まですき通てみえる。宿の自慢に山芋料理、名物シシ料理とマスをアルミハクで包んで蒸し焼きにして味噌をつけたマス饅頭等がある。夏は八紘嶺、大谷崩等への登山客、あるいは避暑客でにぎわうそうだが、我々と一緒になった客は土地のお年寄数人だけで、いかにもひなびた山の湯という感じだった。宿へ荷物を置いた後、紅葉の大トンネル安倍峠を散歩して帰るとコタツと火鉢の用意をしてくれてあったのにはうれしくなつた。湯上がり後、麻雀で稼ぐ？つもりでいたところグシヤミが連発し、早々に床にもぐつた。習日は大滝（高さ50～60メートル）を訪ねたが、静岡へ15時迄には楽にもどれた。若し大滝へ廻らなければ登呂遺跡や東海道丸子の宿の

トロロ汁を食べるのもよろしい。

キヌ峡温泉

東海道線金谷駅より大井川鉄道で1時間20分で温泉につく。南アルプス登山口の一つだ。山の電車にふさわしく膝がくつきそうだし天井も低いから頭がつきそうだ。さてここからバスで20分ばかりの所が目的地であるキヌ峡温泉。温泉からのバスは紅葉の美しさで定評のあるキヌ峡に沿って走るのだから秋の溪谷美を思う存分味わえる。道も山奥の割にはよく整備されており、乗り心地もまずまず。宿は県営山の栄からデラックスホテルのキヌ山在等4～5軒ある。湯は単純硫黄泉で43度、ちよつとぬるい感じが石けんの泡立ちもよく湯上がり後もさっぱりして気持ちがいい。食事はヤマイメ、キノコ、山イモ等が並ぶ。翌日は赤石スカイラインを廻りたい。スカイラインの中でも標高1150メートルの富士見峠からの展望は天下一品であり、名の如く晴れていれば富士はもちろん、南アルプスの山々大無間、小無間、さらに上河内岳、聖岳等が一望できる。帰りは静岡へ出るほうが汽車の便がいゝだろう。又このコースを逆に取り、静岡―スカイライン―キヌ峡温泉―金谷もおもしろい。

湯谷温泉

名古屋から近い割には案外訪れたことのある人は少ないのではなからうか？三輪川に沿った宿も捨てたものではない。溪流に沿って一つ上流の駅「三河槇原」まで歩くと天然記念物「馬背岩」がある。説明によれば「全長22メートル、幅29--63メートル、高さ7メートル、三輪川の河床に全長を露出せる代表的な流紋岩の岩脈」とある。乳岩峽ハイキングコースは湯谷から三つさきの三河川同駅で降り、三輪川の支流乳岩に沿って進む。川幅は除々にせばまり、ついには道と川底とがいつしよになる。分程で乳岩の下につく。風化や水食による奇岩、又天然記念物の乳岩は奥行き2メートルの洞窟で天井から乳房状の鐘温岩が奇妙にたれ下がっている。翌日は鳳来寺山、鳳来湖、あるいは中部天龍まで足をのばし佐久間ダムをのぞき準急伊豆号で一気に名古屋へ帰るのも一案。土産物には柿、山ごぼうなどがある。

どうも交通公社のガイドブックのようなものになりましたが多少なりとも御参考となれば次の慰安会の資料としていただきたい。

思いつくまゝに

東邦鑿泉工業株式会社

伊藤 武夫

先号の「土と岩」の編集会議で集った原稿を見ると(何の因果かたまたま本年宣伝部に所属しましたので)みな立派なものばかりであつたが、所謂ミカたいものミばかりでもあつた。そこで「君一つやわらかいものを書いてくれないか」と云うお声えがかりで思いつくまゝに「ボーリング用語」なる変てこりんなものを書いてしまつて甚だ汗顔の至りに存じております。ところがそれが運のつき、協会でお目にかゝる会員や役員

諸氏に色々とひやかされて迷惑をしている私の気持ちも知らないで「今度もあの調子で一つ」と先手をとられて「えゝい、まゝよ、ものはついでだ」とばかり筆をとつた次第です。

過日或る雑誌をよんでいると、その編集後記に「どうも近頃の日本語はあやしい。もつと正しく使うべきだ」と云う主旨の事が書かれていた。なる程と思つて他の頁をペラペラめくつているとミ夏を食べるミと大きな見出しで出ている。内容を読んでも「夏の食物を食べる」と云う事を意味しているのであるが、血の廻りの悪い私などには一瞬考えさせられる。これなどは近頃よくテレビでやつているミアスパラで生きぬこうミ式の大衆にアピールするためのフレーズで決して間違っているとは云えないだろうが、編集者の意図

「分りやすい日本語を」と云う主張が多分に加味されていると考えられ、その雑誌にして然りである。輸入語、流行語等少しかうかしていると分らない言葉も多い。ところが分らない場合は考えなり、きけばよいわけで特に他人に迷惑をかけたり、失敗をする原因にはならないが、方言に依つて迷惑や失敗をした経験をもっているものは案外多いものである。即ち正しい日本語(方言)に依つて迷惑を蒙つたり失敗をしてかしている訳であり、自分の意思を言語を通じて正しく相手に伝える事はやさしい様で並大抵の事ではない。

或る学校の国語の時間の事である。関東方面の学校から関西へ転任して来た先生が同じ処を何回も念を入れて説明した。すると一人の生徒が「先生くどいです」と云つた。先生は「むづかしいからくどくやつている

んではないか」と烈火の如く怒つたという話がある。これなどはむづかしい事を「くどい」という関西の方言をその先生が知らなかつたため起つた笑いにもならない話である。

ところで笑いになるこういう種類の話といへば佐藤弘人氏の色艶筆中に出て来るハサミの話である。或る人が山陰地方へ旅行して友人の家へ立寄つた。あいにく主人は不在であつたが、その夜はとめてもらつて帰りを待つわけであるが、湯上りにツメを切ろうとして「奥さん、ハサミを貸して頂けませんか」と所望したところ、その奥さんは顔を真赤にしたという話である。

実際我々のところでも次の様な事があつた。今から8、9年前の事、我々の会社で北海道の或る鉱山で探鉱ボーリングをしていた。御承知の如く鉱山というのは鉱業所を中心として鉱山住宅が立並んで一寸した部落を形成している。我々の作業員は独身者寮に入つていたが、作業を終つて寮へ帰つた作業員が何か食べたくなつたのであろう。売店へ間食を買いに行く事になつた。丁度その現場にはその年、高校を卒業して入社した人が二人(二人とも三重県出身)配置されていて、たまたまその一人が(仮にA君としておこう)引受ける事となつた。悪い先輩もいるもので、A君が「何にしますか」と尋ねると「ダンベにしてくれ」と注文した。勇躍出かけたA君はシヨンポリと而も内面いかりをたゞよはせて帰つて来た。それもそのはずダンゴが何かなあとと思つたA君の思惑とは全くうらはらな女性の器物を買いにいつたわけである。それをA君は知らざるものゝつよみ、売店のうら若き女性に「ダンベ下さい」と云つてのけたのである。あとは云はざるものかな、その後A君は売店へは絶対行かなつたそうである。

自分自身の体験について云えば何かの会合の二次会だつたと思う。友人二、三人で名古屋市内の或るバーで一杯やりながら話がたまたまマーチャンの事となつた。誰か「イービンでイーペーコー……」と云つた時、そばにいたホステスが最初はクスクスと云う偲び笑いから笑がだんだん大きくなるので、話した友人の方では、むつとして「イービン、イーペーコーが何がおかしい」と怒る。怒れば怒る程まいにはついに腹

をかゝえてうずくまつてしまった。片一方では怒つて
いるので我々が仲に入つて色々尋ねてみたが、彼女は
クチビルをかみしめて今にも笑いが爆発しそうなのを
我慢していても首を横に振つて答えない。後日分つた
のであるが、彼女は青森県の出身だそうで、イーペー
コーがイツペコに聞えたらしく、さすればイツペ、ダ
ンペ、ハサミに等しく、なる程とは思つたが、我々には
イーピンの方がピンと来ると笑つた事ではある。

さて、余りつまらぬ事ばかり書いているとお叱りを
蒙つてもいけないので、この辺で筆を閉じたいと思ひ
ますが、実際問題として我々は職業上旅行する事が多
い。処変れば品変るのたとえにもある様に、単に言語
上の問題だけではなく、その土地の風俗、習慣等を

よくのみ込んでいないと思はざる失敗をする事のある
事は最初にも述べた通りである。旅の恥はかきすと
云つてしまえばそれ迄であるが、実際人前で赤面する
様な目にあいたくはない。そう云う意味と我々は常日
頃何らかの課題と向き合つていて、あの問題はこう解
決しよう、この仕事はこう処理しよう、と云う比較的
緊張した日々の連続の中に、たまには旅行中の他の土
地の言語、風俗、習慣等（たまたま私が書いた話は言
語上の極端なもののばかりであるが、冠婚葬祭、日常会
話、その他もつと真面目な意味のものを含めて）を想ひ
起こして、自分の土地との違いを比較して一人楽しん
でいるもの、全く無意味とは云えまい。

会 員 紹 介

近畿ボーリング(株)

会 社 名 近畿ボーリング株式会社

代 表 者 阿部治朗

所 在 地 京都市伏見区
横大路鉾の本
町21の2

電話京都
(30) 4980

営業種目 (1) 地質調査

(2) グラウト工事

(3) ブルドザー工事

沿 革 昭和31年3月創立

資本金 275万円

代 表 者 趣味……ゴルフ、謡、碁

略歴……昭和27年11月技術士となる

(応用理学)

昭和28年3月 京都大学理学部

地鉾科卒

出張所 名古屋事務所

名古屋市昭和区雪見町1の14

電話(73) 3494

松山事務所

愛媛県松山市南宮古町67



新菱建設(株)

会社名称 新菱建設株式会社

代表者名 取締役社長

大平義光

所 在 地 東京都中央区
日本橋本町
3丁目8番地
ワカ木ビル

電 東京
(270) 0931



営業種目 総合建設業

沿 革 (1) 昭和35年4月 資本金1億円

(三菱鉱業株式会社系列10社が発起
人となり設立)

(2) 昭和36年3月 増資により

資本金3億2,400万円

(株主として新たに 系列2社が参加
計13社となる)

(3) 昭和37年6月 増資により

資本金7億円

(株主として新たに系列3社参加、
計16社となる。 授權資本12億円

代 表 者 略歴 明治33年10月25日生

大正15年 九大工学部、採鉾科卒

同年 三菱鉱業株式会社
入社勝田、崎戸礦業所長
を笠、

昭和28年 取締役

昭和29年 同九州事務所長兼務

昭和32年 常務取締役就任

昭和35年 同社辞任

同年 新菱建設株式会社副社長
就任

昭和38年 同社社長就任

趣味 魚釣り、ゴルフ

本、支店所在地

本 店 東京都中央区 日本橋本町3丁目
5番地 ワカ末ビル
電東京 (270) 0931

東京支店 同上

営業所 仙台、八戸、横浜、新潟、長野
福島

大阪支店 大阪府大阪市北区 梅田町2番地
第一生命ビル内
電大阪 (361) 1261 (代)
(312) 3407 (直)

営業所 高松、和歌山、広島、岡山、福
山、松山

名古屋支店 愛知県名古屋市中村区笹島町
1丁目1番地 新名古屋ビル 北館
電名古屋 (56) 4457

福岡支店 福岡県福岡市天神町58番地
天神ビル内 電福岡 (75) 6031

営業所 北九州、長崎、高島

札幌支店 北海道札幌市 北5条西6丁目2番
地 電札幌 (4) 856

営業所 釧路、室蘭、美唄、若小牧、大
夕張、旭川

以 上

白石基礎工事(株)

会 社 名 白石基礎工事株式会社名古屋営業所

代 表 者 所長 岩尾兼雄

所 在 地 名古屋市中区東田町1の23(新栄ビル)

電(25)2021

営業種目 1, 一般土木建築工事

1, 潜函並に「シールド」工事

1, 地質調査

1, 上記3項に関する一切の業務

沿 革 資本金 1億3百万円

代 表 者 趣味 ゴルフ

略歴 昭和6年3月京都大学工学部

土木学科卒業

同年3月大阪役所就職

昭和27年4月大阪役所退職して

白石基礎工事株式会社に入社し

現在に至る

本 社 東京都千代田区丸ノ内2の2の1

(丸ビル426区) 電話(201)1231~5

関西営業所 大阪市東区淡路町4の25(埼玉ビル)

電話(202)4038

以 上

事務局通信

第6号 「土 と 岩」

8月9日 中部日本地質調査業協会研究部会協議会

8月15日 中部日本地質調査業協会第29回理事会

9月3日 中部日本地質調査業協会宣伝部会打合せ

9月4日 標準価格表説明臨時理事会

9月6日 県庁関係標準価格表説明懇談会

9月13日 建設省関係標準価格表説明懇談会

皆様の御協力にて 発展途上の「土と岩」第5号誌に引続き本号より活版印刷となりました。内容記事も質的、量的に豊富に拡充されましたので格別の御愛読をお願いします。

事務局として年中行事のハイライトである総会も各位の御協力で恙なく終り、一服した処で愈々新年度の実施計画の一環たる標準価格表の有効適切なる頒布に関連して県庁関係者に対する価格表の説明懇談会と建設省関係者との会合を立案して交渉を進め、前者は9月6日、後者は9月13日と決定した。

その間連合会、臨時総会、岐阜県大会の計画準備も織り交ぜて着々推進した。 愈々

9月6日 県庁関係者説明懇談会

県庁側出席者 14人

一般協会員 11人

協会役員 12人

計 37人

9月13日 建設省関係説明懇談会

建設省側出席者 11人

一般協会員 7人

協会役員 12人

計 30人

らは万障漏なく実施せねばならぬので、8月早々準備を進めた。

設営の一切遠来客の駅頭員受入れ体制より会議所の設備船上宴会の暇取り宿舍の部屋割まで手筈を整えて不性の念の起らぬ様役員の皆様全員一致で心から奉仕に徹し遠来の客をねぎらい、感謝されました。

翌早朝会長始め全役員順次帰られました。我々事務局関係は第一回事務局長会議が開かれるので何れも緊張した気持ちで全地区8人午前9時より会合しました。鮫島東京協会事務局長の好リードにより 延々3時間余12時半迄頃証15議案に亘る収穫を得て各自再会を約して「お元気で」の一言を残し真昼の長良川畔を後にした。

○議 事

- ① 入退協会員の連絡を密にせよ
- ② 東京、中部の協会の呼称について
- ③ 全国価格表の格差について
- ④ 法人化に伴う末端協会呼称について
- ⑤ 協会職員各自の社会保険取扱いについて
- ⑥ 各協会の会費その他の額について
- ⑦ 各協会共収入をたかめて資産を殖せ
- ⑧ 各協会の理事会の場所
- ⑨ 各協会役員の部処
- ⑩ 各協会賦課率の対照
- ⑪ 年間契約高を連絡せよ
- ⑫ 事務局間の横の連絡をせよ
- ⑬ 連絡は必ず文書とせよ
- ⑭ 協会の議事進行ルールについて
- ⑮ 事務局間の事項は総て肉身的考え方で処理せよ

何れも 名古屋駅前毎日会館内ホテル・ニューナゴヤで開催致しました。

引続いて全国連合会、臨時総会が岐阜で開催されることになり、地元協会の持廻り当番として引受けたか

以 上

編集後記

前号は正規の発行日が編集方針の変更と印刷の都合で二ヶ月近くずれて、八月末頃ようやく皆様のお手許へとまいた事と存じます。従つて今月号はその二ヶ月程のずれを少しでも正常にもどすべく発行予定日を10月末と定めての編集であり、尚吾々の意図するところまでもつていけなかつた事について深くお詫び致します。来る7号は1月初め新年号として発行する予定にて従来に比し可成り日数もありますので、各位の一層の協力を得て益々内容の充実に力を注ぎたいと思つております。

① 扱て全国連合会の臨時総会並事務局長会議も去る9月26、27日の両日岐阜市長良館に於て盛大に挙行され各地区協会代表者達の熱心な討論や懇親会等における裏話しを通じて推察するに、今後当中部日本地質調査業協会に於ても、最も大きく採り上げられる問題は協会の社団法人化と云う問題である様です。会員の一層の協力が望まれるわけです。

本「土と岩」誌の本表をかざっている「テレビ塔」も懸案の地下鉄工事に依つてその真下にトンネルが通る事については衆知の通りであります。「ボーリング」「薬液注入に依る地盤改良」「ラヂオアイソトプに依るその確認」等我々の関心をそゝる技術が折込まれており、各位の注目を集めておりますが、今回はその意

② まで越賀先生をわずらはし一般の問題として「薬液注入について」と題し論じて頂きました。

本年もようやく半ばを過ぎ当協会の行事予定も、ぼつぼつ消化されております。研究部における技術講習会は予算の問題もあつて過日の役員会で本「土と岩」誌に紙上講習として取上げる事となり、本号から実施さ

れており、建設省、愛知県関係の単価表説明会等も一応終了しました。後はレクリエーション関係の行事が残されておりますが、いずれ総務部において具体的に立案されると思いますので、その節はふるつて御参加下さい。

本号を御覧下さる頃は恐らく10月末頃と存じます。今年は台風らしきものもなく、熱さも過ぎ諸官庁の予算も放出期とあつて会員諸氏におかれましては定めし御多忙の日々をおくられている事と存じます。しかし忙中閑ありと云う諺もございます。たまには協会事務所に立寄り頂き油を売つて行つて下さい。

最後に会員各位の御繁栄と御多幸をお祈りして本号の筆を閉じます。

以上

会員広告募集！

1. 本号より会員の広告を募集しております。
2. 広告料は $\frac{1}{2}$ 頁 1 律 3,000 円と致します。
3. 凸版代は別途申受けます。
4. 御申し込みは協会宣伝部又は事務局へ
5. 次号締切は11月20日と致します

土 と 岩 38年 9月号 昭和38年10月30日発行

発行責任者 名古屋市中区西新町西新ビル
中部日本地質調査業協会宣伝部

印刷 四日市市浜町3の5
安田印刷所

(非売品)